

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

地球温暖化、脱炭素社会の流れの中、建築構造物もコンクリートから強度や耐熱性に優れ、自由なデザインが可能で、環境負荷も小さくCO2削減や森林保全につながる集成材(CLT)の需要拡大が見込まれる。「木造建築は第二の森林になる」をキーワードに木の活用分野を広げ、需要に応えるため、機械化による省エネ、生産性と安全性の向上を図り、事業に関わる社員が誇りを持ち働き、物心両面の豊かさを実現し、若者が集う九州ナンバーワン企業を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に◎)	SDGsに関する重点的な取組み	指標
◎環境 ○社会 ◎経済	集成材(CLT・ラミナ)生産の推進	2021年 46,000 m ³ →2024年 52,000 m ³
◎環境 ○社会 ◎経済	省エネタイプの製材機械の導入による生産性と安全性の向上を推進	2021年 2機 →2024年4機
○環境 ◎社会 ◎経済	地域の若年者の雇用を促進	2021年 0人 2024年 4人

<パートナーシップ>

製材事業者として、関係の深い大手木材業者、建材、ハウスメーカー、行政、地域等とさらに連携し、集成材による木材の需要拡大を図るとともに、企業内部においては機械化を進め、社員の働く環境の改善を図り、社員、関係者の物心両面の満足度向上を図っていく。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。

○ SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係る進捗状況(※更新の場合のみ。)

○登録状況:第 期登録(登録年月日: 年 月 日)

○登録番号: 号

<SDGsに関する重点的な取組み状況、前期の指標及び実績>

三側面 (分野に◎)	取組みの状況	前期の指標	実績
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			

・「登録状況」及び「登録番号」を記載してください。

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。